



学校だより

福生一小ホームページ <https://fussa-1e.hs.fussa.school/>

令和7年11月4日
11月号
福生市立福生第一小学校
統括校長 高瀬 智子



力を出し切り、頑張った運動会

統括校長 高瀬 智子

先月の運動会は、天候のため実施が火曜日となりましたが、多くの保護者・地域の方に参観いただきました。子どもたちに大きな声援をお送りいただき、ありがとうございました。また、前日準備に際しての児童用テント設営、終了後のテント等の撤収など、多くの力をいただきました。運動会をこのようにお手伝いいただき行えていることに感謝申し上げます。

子どもたちは9月の終わりから、運動会に向けて練習をしてきました。練習を重ねていく中で、互いに協力し合うことや、力を出し合い、形作っていくことの大切さを感じていました。当日は、子どもたちの生き生きとした動き、真剣な眼差し、一生懸命に取り組む姿に感動した方が多くいらっしゃったことと思います。

また、高学年児童の係活動や応援でも、自分たちで運動会をつくるという意識をもち、それぞれの役割を全うする姿が見られました。子どもたちは、やり遂げた思いや達成感を感じていることと思います。子どもたちには、運動会での経験をさらにこれからの成長につなげてほしいと考えます。

そして、運動会が終わったばかりですが、音楽会に向けて、子どもたちは取り組んでいきます。実は運動会と並行して、音楽会に向けても準備を進めてきております。学校全体での行事を軸としながら、日常の学びを大切に、それぞれの児童が、身に付けるべき力を身に付け、できるようになることを増やし、仲間との関りから、人と関わることやコミュニケーション力、人を思いやる豊かな心を育ててほしいと思います。

さて、10月は、ノーベル賞の発表がありました。今年は、生理学・医学賞に坂口志文さん、化学賞に北川進さんが受賞し、明るいニュースとなりました。お二人とも地道に努力を重ねて今回の受賞となりました。その中で、坂口さんは次のようにお話されていました。「一つ一つ 一つのことを続ける。自分の興味があることを見つけたら、大切にしながら続けていく。大切だと思ったことが、変形していき、形になっていくのが重要である。」

子どもたちにも、自分の興味あることに出会い、それを大切にしていけることで、自分らしさを大切に力を伸ばしてもらいたいと感じました。

2学期も11月を迎え、折り返しとなりました。1年の間で最も長い2学期、子どもたちの大きな成長を期待したいと思います。今後とも、本校の教育活動に御理解・御協力をお願いいたします。

